

業績書（教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 号関係）

| | | | |
|--------|-----------|----|--|
| 氏名 | 鈴木 英之 | 学位 | |
| 担当授業科目 | 英語 I~VIII | | |

1 経歴、学会及び社会における活動等

| | |
|----|---|
| 学歴 | 昭和 49 年 3 月 静岡県立韮山高等学校卒業 |
| | 昭和 50 年 4 月 上智大学文学部英文科入学 |
| | 昭和 54 年 3 月 同 上 卒業 |
| | 昭和 54 年 4 月 日本大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程入学 |
| | 昭和 56 年 3 月 同 上 修了（文学修士） |
| | 昭和 56 年 4 月 日本大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程入学 |
| | <昭和 57 年 9 月～昭和 58 年 6 月 UniversityCollege, Dublin M. A. コース 研究留学> |
| | 昭和 59 年 3 月 日本大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程満期退学 |
| 職歴 | 昭和 59 年 4 月 日本大学国際関係学部および短期大学部（三島） 非常勤講師 （英米文学演習、英作文、LL 演習等担当） 現在に至る |
| | 昭和 61 年 4 月 明治学院大学国際関係学部国際学科・文学部英文学科非常勤講師 （英作文、一般教養英語等担当） 昭和 63 年 3 月まで |
| | 昭和 62 年 9 月 東海大学海洋学部非常勤講師 （一般教養英語担当） 昭和 63 年 3 月まで |
| | 昭和 63 年 4 月 静岡英和女学院短期大学英文学科専任講師 （英米の小説、児童文学、演劇、英作文等担当） |
| | 平成 3 年 10 月 静岡英和女学院短期大学英文学科助教授 平成 4 年 3 月まで |
| | 平成 4 年 4 月 富士フェニックス短期大学英語英米文学科助教授<文部省審査合格> （英米文学演習、英米文学作品研究、児童文学、演劇、地域研究〔イギリス〕、 英語表現法、英文学史、卒業研究等担当） |
| | <平成 7 年 9 月 AmericanCollege, Dublin（夏季）海外語学研修・学生引率お よび研修> |
| | 富士フェニックス短期大学、募集停止に伴い、平成 13 年 3 月を もって退職 |
| | 平成 13 年 4 月 日本大学文理学部英文学科 非常勤講師 （英文学演習、エッセイ演習、英語 5～8 等担当） 現在に至る。 |

所属学会 平成27年1月現在 日本大学英文学会
 日本英文学会
 日本ジェイムズ・ジョイス協会

2 著書

| 著書名 | 単著・共著の別 | 発行所名 | 刊行年月日 | 備考 |
|-------------------------------|---------|-------|---------|----|
| 『思考する感覚—イギリス・アメリカ文学のコンテクストから』 | 共著 1/14 | 国書刊行会 | 平成8年3月 | |
| 『ジョン・マクガハン—男の事情、女の事情』 | 共著 1/15 | 国書刊行会 | 平成16年6月 | 翻訳 |

3 学術論文等

| 学術論文等の名称 | 単独・共同の別 | 発表雑誌等名 | 発行年月日 | 備考 |
|---------------------------------------|---------|----------------------|---------|----|
| 「 <i>Ulysses</i> における実存と愛」 | 単 | 日本大学英文学会『英文学論叢』第30巻。 | 昭和57年3月 | |
| 「芸術家とその人生のコーラージュを巡って—James Joyce の場合」 | 単 | 日本大学英文学会『英文学論叢』第32巻。 | 昭和59年3月 | |
| 「 <i>Ulysses</i> における愛の逆説」 | 単 | 日本大学英文学会『英文学論叢』第33巻。 | 昭和60年3月 | |
| 「James Joyce の何もない空間—序—」 | 単 | 日本大学英文学会『英文学論叢』第34巻。 | 昭和61年3月 | |
| 「James Joyce の何もない空間—劇的なる空間を巡って(1)—」 | 単 | 日本大学英文学会『英文学論叢』第35巻。 | 昭和62年3月 | |
| 「James Joyce の何もない空間—劇的なる空間を巡って(2)—」 | 単 | 日本大学英文学会『英文学論叢』第36巻。 | 昭和63年3月 | |

| | | | |
|--|---|----------------------|--------|
| 「James Joyce の何もない空間－劇的なる空間を巡って (3) －アイロニーと亀裂」 | 単 | 『静岡英和女学院短期大学紀要』第21号。 | 平成1年2月 |
| 「James Joyce の何もない空間－劇的なる空間を巡って (4) －誤謬の空間とアイロニー」 | 単 | 『静岡英和女学院短期大学紀要』第22号。 | 平成2年2月 |
| 「James Joyce の何もない空間－劇的なる空間を巡って (5) －Myth, Parody etc.」 | 単 | 『静岡英和女学院短期大学紀要』第23号。 | 平成3年2月 |
| 「James Joyce の何もない空間－劇的なる空間を巡って (6) －主観と客観のはぎまで」 | 単 | 『静岡英和女学院短期大学紀要』第24号。 | 平成4年2月 |
| 「James Joyce の何もない空間－劇的なる空間を巡って (7) －矛盾の彼方に… … (その1)」 | 単 | 『富士フェニックス論叢』第1号。 | 平成5年3月 |
| 「James Joyce の何もない空間－劇的なる空間を巡って (7) －矛盾の彼方に… … (その2)」 | 単 | 『富士フェニックス論叢』第2号。 | 平成6年3月 |
| 「James Joyce の何もない空間－劇的なる空間を巡って (7) －矛盾の彼方に… … (その3)」 | 単 | 日本大学英文学会『英文学論叢』第42巻。 | 平成6年3月 |
| 「James Joyce の何もない空間－劇的なる空間を巡って (7) －矛盾の彼方に… … (その4)」 | 単 | 『富士フェニックス論叢』第3号。 | 平成7年3月 |
| 「James Joyce の何もない空間－沈黙の空間を巡って (1) －沈黙に向かって」 | 単 | 『富士フェニックス論叢』第4号。 | 平成8年3月 |
| 「James Joyce の何もない | 単 | 日本大学英文学会 | 平成8年3月 |

| | | | | |
|---|---|--|---------|--|
| <p>空間－沈黙の空間を巡って (2)－見えない演劇 <i>Exiles</i>]</p> | | <p>『英文学論叢』第 44巻。</p> | | |
| <p>「James Joyce の何もない 空間－沈黙の空間を巡って (3)－抑圧、ノン・コミュニ ケーション、沈黙……(そ の1)」</p> | 単 | <p>『富士フェニッ クス論叢』第5号。</p> | 平成9年3月 | |
| <p>「James Joyce の何もない 空間－沈黙の空間を巡って (3)－抑圧、ノン・コミュニ ケーション、沈黙……(そ の2)」</p> | 単 | <p>日本大学英文学会 『英文学論叢』第 45巻。</p> | 平成9年3月 | |
| <p>「James Joyce の何もない 空間－沈黙の空間を巡って (3)－抑圧、ノン・コミュニ ケーション、沈黙……(そ の3)」</p> | 単 | <p>『富士フェニッ クス論叢』第6号。</p> | 平成10年3月 | |
| <p>「<i>Ulysses</i> における“(the) Word Known To All Men” と新テキストを巡って」</p> | 単 | <p>日本大学英文学会 『英文学論叢』第 46巻。</p> | 平成10年3月 | |
| <p>「Danis Rose による改訂版 <i>Ulysses</i> と“(The) Word Known to All Men”」</p> | 単 | <p>『富士フェニッ クス論叢』第7号。</p> | 平成11年3月 | |
| <p>「James Joyce の何もない 空間－沈黙の空間を巡って (4)－沈黙…空(くう)…無… (その1)」</p> | 単 | <p>日本大学英文学会 『英文学論叢』第 47巻。</p> | 平成11年3月 | |
| <p>"Three Revised Editions of <i>Ulysses</i> and the “Word Known to All Men,”</p> | 単 | <p>日本ジェイムズ・ ジョイス協会 Joycean Japan 10 (English number)</p> | 平成11年6月 | |
| <p>「James Joyce の何もない 空間－沈黙の空間を巡って (4)－沈黙…空(くう)…無… (その2)」</p> | 単 | <p>『富士フェニッ クス論叢』第8号。</p> | 平成12年3月 | |

| | | | | |
|--|---|------------------------------------|---------|---------|
| 「James Joyce の何もない空間—沈黙の空間を巡って (5)—ニヒリズムと愛の逆説…(その1)」 | 単 | 日本大学英文学会 『英文学論叢』第48巻。 | 平成12年3月 | |
| 「James Joyce の何もない空間—沈黙の空間を巡って (5)—ニヒリズムと愛の逆説…(その2)」 | | 『富士フェニックス論叢』第9号。 | 平成13年3月 | |
| 「James Joyce の何もない空間—沈黙の空間を巡って (5)—ニヒリズムと愛の逆説…(その3)」 | 単 | 日本大学英文学会 『英文学論叢』第49巻。 | 平成13年3月 | |
| 「James Joyce の何もない空間—沈黙の空間を巡って (5)—ニヒリズムと愛の逆説…(結)」 | 単 | 日本大学英文学会 『英文学論叢』第50巻。 | 平成14年3月 | |
| 「カオスと Bloom の“all-round”性をめぐり考察」 | 単 | 日本大学英文学会 『英文学論叢』第51巻。 | 平成15年3月 | |
| 「Ulyssesにおける“a fool”の可能性としての Bloom考」 | 単 | 日本大学英文学会 『英文学論叢』第52巻。 | 平成16年3月 | |
| “A Speculation on the Quotation: ‘I met a fool i'the forest.’” | 単 | 日本ジェイムズ・ジョイス協会 Joycean Japan 16 | 平成17年6月 | English |
| “Mo(o)re to Joyce: a Literary Pedigree of Laughing” | 単 | 日本大学英文学会 『英文学論叢』第56巻。 | 平成20年3月 | English |
| 《研究会レポート》 <i>Finnegans Wake</i> (I-1: 003.1-004.17) | 単 | 日本ジェイムズ・ジョイス協会 Joycean Japan 23 | 平成24年6月 | |
| <i>Finnegans Wake</i> (I-1: 004.18-005.12) | 単 | 日本ジェイムズ・ジョイス協会 | 平成25年6月 | |

| | | | | |
|--|---|--|---------|--|
| <i>Finnegans Wake</i> (I-1: 005.13-006.28) | 単 | Joycean Japan 24 日本ジェイムズ・ジョイス協会 | 平成26年6月 | |
| <i>Finnegans Wake</i> (I-1: 006.29-007.19) | 単 | Joycean Japan 25 日本ジェイムズ・ジョイス協会 Joycean Japan 26 | 平成27年6月 | |

4 学会発表等

| 発表課題の名称 | 単独・共同の別 | 発表学会等の名称 | 発表年月日 | 備考 |
|--|---------|-----------------------------|----------|----|
| 「 <i>Ulysses</i> における実存と愛」 | 単 | 日本大学英文学会。 | 昭和56年11月 | |
| 「芸術家とその人生のコレクションを巡って—James Joyce の場合」 | 単 | 日本大学英文学会。 | 昭和59年1月 | |
| 「 <i>Ulysses</i> における文体と感性」 | 単 | 日本大学英文学会。 | 平成7年1月 | |
| 「 <i>Ulysses</i> おける "(The) Word Known To All Men" と新テキストを巡って」 | 単 | 日本大学英文学会 学術研究発表会。 | 平成9年11月 | |
| 「 <i>Ulysses: A Reader's Edition</i> と "(The) Word Known to All Men" 」 | 単 | 日本ジェイムズ・ジョイス協会第10回記念研究発表大会。 | 平成10年6月 | |
| 「"I meta fool i' the forest." をめぐると一考察」 | 単 | 日本ジェイムズ・ジョイス協会第16回研究発表大会。 | 平成16年6月 | |
| 「Joyce and Moore: 笑いの系譜をめぐると一考察」 | 単 | 日本ジェイムズ・ジョイス協会第18回研究発表大会。 | 平成18年6月 | |
| 「 <i>Finnegans Wake</i> ワークショップ(206.29-209.09)」 発表者兼コーディネーター | 単 | 日本ジェイムズ・ジョイス協会第20回研究発表大会。 | 平成20年6月 | |

以上